

北区民まちづくり会議 第1回地域コミュニティ賑わい部会での議論の概要
(平成29年9月29日 @区役所大会議室)

<紫野学区：負担感を感じている人>

現状、課題

(思い)

- ・ 土日や平日夜に会合に呼ばれることや、各種イベントへの出席が負担、面倒臭い。
- ・ 近所の人のことを知らない中では、回覧を回すことが精一杯。
- ・ 町内のイベントへの魅力が感じられない（他に楽しいことがたくさんある）。
- ・ 子供がいなければ、町内会の人と関わるメリットがない。
- ・ 町内会の輪に入れるかどうか不安、楽しそうだと思うが、入りにくい。

(実状)

- ・ 県外から引っ越して来られた方、特にマンション住民は町内会に入っていない。
- ・ マンションがオートロックなので、コミュニケーションが取りにくい。
- ・ 若い方は、多世代の人とコミュニケーションを取る習慣が比較的少ない。
- ・ 移り住んだ場所では、密な繋がりが少ない。
- ・ マンションでは、マンションの管理組合費とは別に町内会費を徴収する。
- ・ マンション管理組合の役と町内会の役が重なることがある。

現在行っている取組

- ・ 町内を通行止めにして、地蔵盆の足洗いを行う。ご馳走やお酒なども沢山用意して、町内会に入っていない人も含めてお誘いする。

アイデア

- ・ マンションの管理会社が地域と居住者とのつなぎ役になる。
- ・ 町内会脱退したいと言われたときに、きちんと原因を追究し、フォローする。
- ・ 挨拶をはじめとした声掛けを継続して行う。（まずは顔見知りの関係になる。）
- ・ 自分が役をしないとあの人が困るなど思える人間関係をつくる。

<紫竹学区：負担感を感じている人>

現状、課題

(思い)

- ・ 入っていなくても支障がないのであれば、入らない。
- ・ 入らない方が自由に時間を使える。
- ・ 町内会でやっていることが見えないので、有難さを感じられない。
- ・ 町内会に入るメリットが分からない。
- ・ 役がすぐに回ってくるので、負担。
- ・ 自分の家族構成を知られることが嫌。
- ・ 運動会などのイベントにも関わりたくない、回覧板も回ってこなくていい。

(実状)

- ・ 学校のPTAや、幼稚園の役と町内会の役とが重なる。
- ・ 町内会より、自分の好きなことに時間を費やす人が多い。

現在行っている取組

- ・ 2箇月に1度の町内清掃活動の際に、豚汁や花見団子を食べて楽しんでいる。
- ・ イベント企画など、面白い役を設け、役員のアイディア一つでイベントを実現できる。
- ・ 同世代の人を三人集めて、楽しみながらイベントの準備をしてもらうよう配慮している。
- ・ 町内会の親睦を図るための取組に対して1万円の補助を学区で用意している。
- ・ お月見会を企画し、町内会に入っている、入っていないに関わらず、声掛けをする。
- ・ 町内会長の負担感を減らせるように、町内会長の助っ人を派遣している。
- ・ どうしても役が出来ない高齢者については、役を免除する。
- ・ 災害の時に力になるのは町内会だということを言い続け、入るメリットより、入らないデメリットを説明する。

<上賀茂学区：高齢者>

現状、課題

(思い)

- ・ 自分一人で生活していけるので、構わないでほしい。

(事実)

- ・ 年金生活で町内会費や多くの寄付金が払えないという経済的な負担がある。
- ・ 体調面で不安があり、役が受けられない。
- ・ 世代が変わると自分の意見が通らず、町内会の中に居場所がない。
- ・ 昔に比べ、様々なサービスが充実しているので、近所の助けがなくても生きていける。
- ・ 75歳を超えると、段々といろんなことが面倒臭くなってくる。
- ・ 1箇月に5～6枚の回覧が回る、10年に1度くらいの頻度で役が回ってくる
- ・ 主な事業は、町内会費で行っているのですが、声掛けも町内会に入っている人が対象。ただし、運動会は寄付で行っているのですが、町内会に入っていない人も対象。
- ・ 運動会では町内会のテントがあり、町内会に入っていない人にはお弁当やお菓子が行き渡らないことがある。

現在行っている取組

- ・ グラウンドゴルフ大会、すこやか教室、ハイキング
- ・ 敬老会を小学校で実施していた頃は、みんな普段着だったが、プリンスホテルで行うことできれいに着飾って来ていただいている。
- ・ これまで来られてない新しい人が来られた時は、輪の中に入れるように配慮している。

アイデア

- ・ 学区全体として、高齢の人の役を免除するようなルールを作る。
- ・ 楽しく誘い、楽しく参加してもらおう工夫をする。

<待鳳学区：マンション>

現状、課題

(思い)

- ・ 町内会の役が面倒臭い。
- ・ 町内会のことを知らない、参加したいと思うような活動がない。
- ・ マンションは、災害時でも、地域に頼らなくてもやっていける。
- ・ 子供が出来ると町内会に入ろうという気持ちになる。
- ・ 運動会に参加したいので町内会に入りたい。

(実状)

- ・ コミュニケーションが面倒なので、マンションに住んでいる人がいる。
- ・ マンション住民は、マンションの管理組合費と町内会費と両方を払う必要がある。
- ・ マンションは分譲であっても、戸建てより人の移り変わりが激しい。
- ・ セキュリティが厳しく、関わりを持つのが難しい。
- ・ 表札が出ていないので、誰が住んでいるか不明。隣人を知らない。
- ・ 大学生は忙しいため、時間が掛かる行事などへの参加は難しい。

現在行っている取組

- ・ 学生アパートに声掛けし、運動会に出てもらっている町内がある。
- ・ 大学生は数年で引っ越すこともあり、なかなか声を掛けづらい。
- ・ 町内会長がどのように活動されているか追求していない。
- ・ これまでマンションはターゲットにしていない。

アイデア

- ・ マンション内でも町内会と繋がっていることを意識してもらうような仕組み（1軒1軒町内会費を集めると、意識が高まる。）
- ・ マンション建設の情報が入れば、すぐに地域で町内会への勧誘を行う。
- ・ マンション全体ではなく、個人個人で町内会に入れるようにする。
- ・ 大学生に夏祭りのブースを考えてもらうなど、若い世代のアイデアを取り込む。
- ・ 運動会や地蔵盆などに、軽い気持ちで参加してもらえる工夫をする。
- ・ 諦めず、継続的にマンションに働きかけていく。
- ・ SNSなどを使った情報発信をする。
- ・ インターネットを使った地域の情報発信のデザインを大学生にしてもらう。（賞金制）
- ・ 誰でも入りやすい入口としてバーベキュー＋草刈りなどの企画。

<鷹峯学区：大学生>

現状，課題

(思い)

- ・ 町内会の役員と学生の世代が違うため，世代間のギャップがある。
- ・ マンションオーナーに町内会への理解がない。
- ・ 直接人とつながるより，ネットで繋がる。
- ・ 個人情報を知られるのが怖い。
- ・ 他人と関わりたくない，大学生以外との関わりを求めている。
- ・ 話し掛けてこられることが鬱陶しい。

(実状)

- ・ マンションに町内会の回覧が回ってこない。
- ・ 住んでいるマンションは，オートロックかつインターホンがないので，知らない人とコ
ンタクト出来ないようになっている。
- ・ バイトで忙しいので，町内会の夜の会合などに参加出来ない。

現在行っている取組

- ・ 学生に対してアクションを行うきっかけがない。
- ・ 地域側が大学生に町内会に入って活動してもらいたいと積極的には思っていない。

アイデア

- ・ 大学生に町内会を盛り上げるために，運動会に出てもらおうよう呼び掛ける。
- ・ 町内会に若者部を作り，町内に住んでいる他大学生と仲良くなれる仕組みを作る。
- ・ 学区で趣味サークルを作る。
- ・ 地域活動の中にバイトのような仕事がある。学生を雇って，活動してもらおう。
- ・ 大学生が町内会活動に関わると，町内会に入っているスーパーや飲食店の割引がある。
- ・ 銭湯を活用し，“毎週〇曜日は銭湯の日”とするなど，交流の機会を作る。
- ・ 地域の方と大学生と一緒にご飯が食べられる機会を作る。
- ・ 学生向けの地域アプリを作る。
- ・ 大学の入学式の日などに町内会のPRが出来る機会を作る。

<金閣学区：大学生>

現状，課題

(思い)

- ・ 町内会に知り合いがないので，入りづらい。地域で地蔵盆をやっているけど，内輪感があって入りづらい
- ・ 町内会のことをやっている時間があるならバイトをしたい。
- ・ 町内会は親がやるもの，結婚して所帯を持てば入るという印象がある。
- ・ 地域の行事の際に，無料で飲食することに抵抗がある。
- ・ 地域と繋がったとしても期間限定であり，下の学年への引き継ぎが難しい。

(実状)

- ・ 表札も出していないので，誰が住んでいるか分からない。

現在行っている取組

- ・ 学区内で，学生がどこに住んでいるか把握していない。
- ・ 熱心な学生は，一度繋がったら離さない，しつこく声掛けを行い，繋がりが切れないようにしている。
- ・ 地域に友達がないということであれば，会長自身が友達になる。

アイデア

- ・ 社会人の準備として朝に地域内で活動（朝活）を行う。
- ・ オープンキャンパスの日などに町内会のPRや学区のいいところ紹介が出来る機会を作る。